



2015 紀の国わかやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

審判(副)委員長
氏名: 松本 久彦
確認: 未 <input type="radio"/> 済 <input checked="" type="radio"/>

バレーボール競技 戦評用紙

種別	聴覚障害者の部(女子)
----	-------------

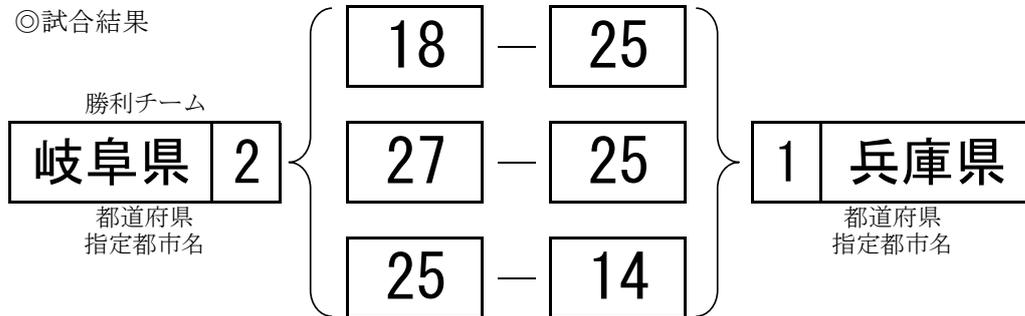
会場	岩出市立市民総合体育館
----	-------------

平成 27 年 10 月 26 日 月 曜日 第 3 日目

B コート 第 9 試合

1回戦 交流試合 準決勝 3位決定戦 決勝

◎試合結果



【審判員】

主 審: 松本 久彦 (和歌山県) 副 審: 田中 崇博 (和歌山県)

記録員: 谷 早織 (和歌山県) A・S: 坂田 昂平 (和歌山県) 村中 里菜 (和歌山県)

【戦 評】

記載者: 村上 茜 (戦評委員)

1セット目は互角の試合運びで始まったが、兵庫県5番安積選手のサービスエースを皮切りに、兵庫県が大きくリードし、16-5となる。中盤から終盤にかけて、岐阜県は2段トスから攻撃するも追いつけず25-18で兵庫県が制した。

2セット目は、一進一退のゲームになった。序盤は、長いラリーを制した岐阜県が勢いにのり、13-6でリードする。中盤、兵庫県5番安積選手のレフトからのストレートで得点を重ね20-20と追いつく。最後は、岐阜県5番藤井選手のジャンプフロッターで兵庫県を崩し、27-25で岐阜県が制した。

3セット目は、序盤、両チームのエースが打ち合い、粘りのあるラリーが展開された。中盤、岐阜県7番今井選手のレフトからの強烈なスパイクで17-10と大きくリードする。終盤、岐阜県のエーススパイカー3番河尻選手にボールを集め、躍動を生かした高い打点のスパイクで勢いのまま25-14で岐阜県が制した。紀の国わかやま大会決勝にふさわしい白熱した試合だった。

150

300

450